

SORA

web magazine 2013.may. vol.14

大物が棲む絶海の孤島

海を移動すること30時間以上。

初めて訪れたココ島には驚きの世界が広がっていた。

Photo & Text : Yasuaki Kagii

MAP
CLICK!

COCOS Island ココ島

tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2012
World Tour Planners Co.,Ltd.
All Rights Reserved.



驚き Surprise

COCOS
Island ココ島



ココ島での驚きは、もちろんハンマーヘッドシャークの大群。この大群と出会うことがココ島に来た大きな目的でもあったし、満点の星のように水面下でキラめくトンカチ頭のサメとの出会いは、これまで経験した海とはまた少し違っていた。どこか夢のようなんだけど、しっかりとリアルな体験で。ずっと雑誌で見て憧れていた景色が頭上にあることや、日本から長い旅をして、この海までやってきたという時間も関係しているのだろう。

ハンマーヘッドシャークとの出会いも驚きだったけど、キダママグロの群れとの遭遇もそれとは別次元で驚きだった。以前は、こんな魚たちはいったいどこ海に行けば撮影できるのだろう? と思っていた。そしてココ島での数本目のダイビングで、完璧とは言えないけれど、撮影することができた。小さな夢が少しずつ積み重なるようなココ島の海だった。

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島



O 海 cean

COCOS
Island ココ島

これまで、ココ島、ガラパゴス諸島、ソコロ諸島はダイブクルーズ船で巡る大物最終エリアのようなイメージで考えられていた。長い間、この3つのディティネーションは、ダイバーの憧れの最果ての地だった。

現在、ガラパゴス諸島はたくさんのダイバーが定期的に行っているため情報量も多いが、意外とココ島は少ない(ソコロ諸島はもっと...)。実際にココ島の潜ってみて、ハンマーヘッドシャークやギンガメアジの大きな群れも最高だったが、その大物を待つ間の何気ない時間も面白かった。ホワイトチップシャークは根の浅いところにたくさんし、潮当たりの良い場所では、魚群も濃い。そして、崖のような切り立った傾斜の壁に差し込む太陽光が、それらをシルエットとして浮かび上がらせる。生き物たちの持つ造形の面白さが際立つ。何気ない日常風景も、ココ島では超逸品だ。

R ロマン Romance



ココ島の旅をするだけで、もうすでにロマンだ。映画「ジェラシックパーク」の舞台となった島の周辺でのダイビング。ハンマーヘッドシャークやホワイトチップシャークの群れ、そして、ジンベエザメにイタチザメ。見応えのあるサメがウヨウヨしている。魚種はそれほど多くなく、いつものレギュラーメンバーにそれほど変化はない。しかし、飽きることはない。そして、ダイビングを終えて、水面に顔出すと、島に大きな虹が掛かっていた。ココ島でのロマンは、永遠に続く…。

ここで海の中でのロマンスをちょっとご紹介。ヒトデばかりの海底にホワイトチップシャークのペアが素敵な散歩をしていた。そして、ココ島のカスミアジはエイが好きなようだ。寄り添いながら泳いでいる姿を何度か見る事ができた。



COCOS
Island ココ島



A 行動 Action

COCOS
Island ココ島



滞在中にクルーズの順番制で回ってくるホワイトチップシャークの集団捕食を見るナイトダイビング。私たちの持つライトによって照らし出されたハナムロの仲間などの小さなお魚を狙って、ホワイトチップシャークが徐々に集まり始める。岩の下などで寝ている、もしくは、潜り込む獲物を狙って、ホワイトチップシャークが徘徊する。まるで夜に闇討ちをするハンターのように、周りの空気が少し凍る。1匹が狙いを定めたかのように煙を上げて岩に顔を突っ込むと、他のサメたちもそれに呼応したかのように暴れだす。迫力満点。接近を繰り返しながら、サメまみれになりながら、撮影を続ける。

ブリーフィングでガイドさんに注意されていたことがあった。それは「大きなサメが出てきたら、ライト当ててはいけない」。そう聞いたら、興味を持ってしまふ。自然の生き物をバカにしてるわけではない。しかし、撮影したい…。

真っ暗な海の下、私のライトのスポットライトの先に大きなサメが浮かび上がった。「イタチザメだ!」私は、しっかりとライトを当て、撮影をしてフラッシュを浴びせた。大きなサメはすぐに消えた…。水中でえらい剣幕で怒っているガイドさんがいた。その様子を見て、これは本当にしてはいけない行為だったんだと反省をした…。

Information

●国名: コスタリカ共和国 ●ビザ: 90日以内の観光滞在は不要 ●パスポート残存期限: パスポートの残存期間は6ヶ月以上が必要 ●言語: 公用語はスペイン語。ホテルなどの観光地では英語 ●通貨: コロン。ホテルや主要なレストランではUSドルの使用が可能 ●時差: 日本より15時間遅れ ●電圧: 110V、60Hz プラグは日本と同じタイプ ●水: 水道水は飲料に不適。ミネラルウォーターを ●行き方: 成田からアメリカ都市を経由しサンホセへ。サンホセよりクルーズ船で32~35時間

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島

